

公開授業 1

出水南小学校

Let's Try 1 Unit 9 Who are you? きみはだれ?

堀有美
(学級担任)

3年3組



「2年生に外国語の楽しさが伝わるような絵本の紹介をしよう」というパフォーマンス課題を設定しました。皆さんにおなじみの絵本「In the Autumn Forest」の繰り返しの表現を用いて、思考ツールの活用やペアの友達とやり取りを行いながら、一人一人がオリジナルのデジタルブックを創りました。本時は、2年生の児童が喜んでくれるような絵本の紹介の仕方について考えていきます。3年生の児童が外国語のリズムや発音をより楽しみながら表現していく授業を提案します。

Here We Go! 6 Unit 9 Junior High School Life

「中学校でがんばりたいことについて友達と伝え合おう」というパフォーマンス課題を設定し、部活動や勉強など中学校でがんばりたいことを伝え合う「やり取り」の授業です。小中連携の視点より、校区3つの小学校で同じ単元ゴールに取り組み、中学生のモデルを元に、目指すやり取りの姿を児童と共に考えます。ルーブリックや思考ツールを活用し、児童が自分の考えを整理したり、友達と協働したりしながら課題に取り組めるようにします。中学校で出会う友達に伝えたいという思いを中核に捉え、小中の円滑な接続を目指し、「やり取り」の即興性を意識した授業を展開します。

横手佳菜子
(英語専科)

6年1組



Here We Go! 6 Unit 8 What do you want to be?

木村琴子
(学級担任)

6年3組



「自分の将来の夢について、思いを込めて家の人に伝えよう」というパフォーマンス課題を児童とともに設定しました。「将来の夢を相手にわかりやすく伝えるためには、どうしたらよいか」という課題意識のもと、授業を展開していきます。教師がよりよい発表の姿を提示するのではなく、児童自身が失敗を繰り返しながら1時間ごとにより豊かな表現を身に付けていくことを大切にしています。本時はそのスタートの時間です。児童とともに、どのようにしてルーブリックを考えていくのかを提案します。

公開授業 2

出水南小学校

Let's Try 2 Unit 8 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう

井手麻衣
(学級担任)

4年2組



「ALTの先生に出水南小のお気に入りの場所を紹介しよう」というパフォーマンス課題を設定し、出水南小のお気に入りの場所を紹介する内容や聞き手に興味を持ってもらうための工夫を考えていく授業です。ルーブリックやシンキングツールを活用したり、友達とやり取りをしたりしながら、ALTの先生に出水南小の良さをもっと伝えるにはどのようなスピーチがよいかを考えていきます。「ALTの先生に出水南小への親しみをもってもらいたい」という相手意識や目的意識を大事にしながら、授業を展開します。

Here We Go! 5 Unit 9 My hero is my brother.

「あこがれの人についてとなりのクラスの友達に紹介しよう」というパフォーマンス課題を設定します。友達にも自分のあこがれの人の素敵な部分が伝わるように紹介する内容をグループの友達と対話を重ねながら、どんどんブラッシュアップしていきます。その中で生まれた「こうしたら伝わる!」を明確にしていくために、ルーブリックを子どもたちと一緒に作り、小さな気づきから生まれた表現の良さがクラスに全体に広がっていくような授業を展開します。

伊東大輔
(学級担任)

5年4組



Here We Go! 6 Unit 8 What do you want to be?

藤本祥太
(学級担任)

6年4組



「自分の将来の夢について、思いを込めて家の人に伝えよう」というパフォーマンス課題を児童とともに設定しました。自分の将来の夢について理由を交えながら伝える内容を考えていく授業です。3学期は、他教科とも関連しながら自分の将来の姿について考えていきます。ルーブリックを用いて自分自身を客観的に振り返ったり、それを次の学びに生かしたりするなど、児童がルーブリックをもとに、自律的に学ぶ姿を目指しています。児童自身の「発表をよりよくしたい」という思いを中核に、友達との対話を通して単元後半の学びが深まる姿を提案します。

分科会

出水南小学校

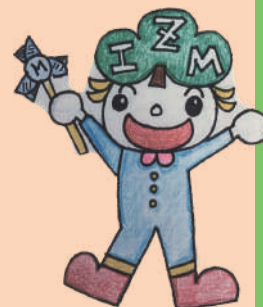
外国語活動部会



3年生と4年生の授業についての事後研究会を行います。中学年の外国語活動について、子どもたちが体験的に学び、豊かな学び手に育つための工夫について主に協議できればと思います。

外国語科部会

5年生と6年生の授業についての事後研究会を行います。高学年の外国語科の授業について、高学年の系統、さらに小・中連携を意識した授業づくりについて主に協議ができればと思います。



単元デザイン部会



What do you want to be? の単元をもとに、単元の学びをどのように展開していくかを提案します。ルーブリックの立て方、児童が主体的に学ぶための手立てについて主に協議ができればと思います。